

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年10月1日 公開授業Ⅱ
児 童 男子13名 女子9名 計22名
指導者 高橋 泉

- 1 単元名 読んで感想をまとめ、紹介し合おう
～伝えよう！わたしの大好きなしごと～
- 2 教材名 「どうぶつ園のじゅうい」 植田 美弥文（光村図書）
- 3 単元について

<目標>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むことができる。

【読むこと（イ）】

- ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。【読むこと（オ）】

<教材の特性と論理的な読み>

時間を表すことばを手掛かりに獣医さんの仕事を時系列でつかみ、わけも考えながら仕事の大体をとらえさせる。そして、教科書教材と自分が興味を持つ仕事に関する本を並行読書し、ひきつけられた部分を見つけて自分の経験と結び付けた感想を書き、紹介し合う学習を展開していく。

<単元を貫く言語活動>

自分が選んだ仕事を説明する文章を読み、ひきつけられた部分を中心に感想をまとめて紹介し合う。

<論理的な読みのための知識・技能>

- 時間的順序、理由づけ等の文
- 自分の経験と結び付く文章を書き抜く。

<児童の実態（説明文に関して）>

児童は、第2学年の「たんぼぼのちえ」で、「描写」とその「わけ」という原因・理由の関係を時間的な順序や事柄の順序を考えながら文章を読んで学習した。「ちえブック」にまとめる言語活動では順序を考えて内容を捉えることはできるようになってきているが、感想をまとめる学習では、根拠が曖昧だったり、自分の経験と結び付けて読むことが難しかったりする児童が数名いる。

<全員が「わかる」ための手立て>

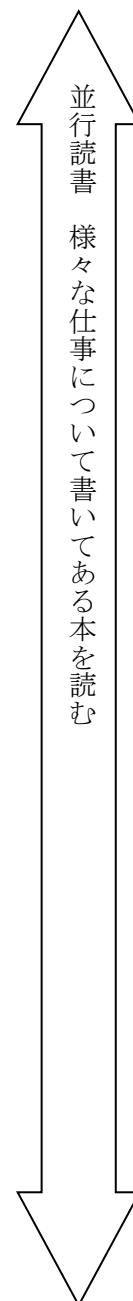
単位時間の前半では、教材文の内容を観点ごとに全員で確かめながら読み、共通の土台に乗せる。後半ではその学習を基に、自分が興味を持った事柄について感想を書きためていく。ペア学習により表現の機会を増やし、根拠を明確にしたり、経験を話したりすることができるようにする。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
様々な仕事に興味をもち、仕事に関係のある本を進んで読もうとしている。	仕事のやり方や手順などの順序をとらえながら、仕事の内容を読んでいる。(1) Cイ 「見つけたよ！大すきな仕事カード」に、気に入った仕事の内容と自分の経験や体験とを結び付けて書きまとめ、発表している。 (1) Cオ	主語と述語の関係を理解し文を読むことができる。 (1) イ (カ)

5 単元の指導計画

次	時	学習活動	授業の工夫 *ユニバーサルデザインの視点	評価規準 (評価方法)
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> 「見つけたよ！大すきな仕事」カードを知り、学習の見通しをもつ。 「動物園」「獣医」という言葉のイメージをふくらませる。 「見つけたよ！大すきな仕事」カードに向けた学習計画を立てる。 全員で音読し、新出漢字、言葉調べの学習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や経験と結び付けてお気に入りの仕事について交流することに焦点化をする。(焦点化) 教師作成の「見つけたよ！大すきな仕事」カードを提示し、ゴールをイメージ化する。(視覚化) 	<p>【関】様々な仕事に興味を持ち、自分の知っていることと結び付けて説明文をよもうとしている。</p> <p>【言】教材文に出てくる新出漢字を正しく書いている。</p>
	2			
	3			
第二 次	4	<ul style="list-style-type: none"> 獣医がしている仕事の順序に気を付けて読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 時をあらわすことばに着目しながらセンテンスカードを並べ替えることで、仕事の順序をつかめるようにする。(視覚化) 	<p>【読イ】時をあらわすことばをもとに、獣医の仕事の順序をとらえている。</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> その仕事をする理由をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と理由を色分けして提示する。(視覚化) わけを表す言葉に着目できるようにサイドラインを引いてさがすようにする。(焦点化) ペア学習により、表現の機会を増やす。(共有化) 	<p>【読イ】叙述をもとに、それぞれの仕事をするわけをとらえている。</p>



	6	・獣医の仕事の工夫をとらえる。	・主語は獣医であることを確かめられるようにペアで音読する。(共有化) ・ペア学習により、表現の機会を増す。(共有化)	【読イ】獣医の仕事と工夫を区別して読んでいる。
	7	・仕事の仲間分けをし、筆者の意図を考える。	・仕事を「いつもしていること」と「ある日の仕事」に分けて提示する。(視覚化) ・ペア学習により、表現の機会を増やす。(共有化)	【読イ】叙述をもとに、仕事を2つに分けて書いた筆者の意図を考えている。
	8 9 本 時	・ひきつけられたの部分を選び、ひきつけられたわけを自分の知識や経験と結び付けてまとめる。	・友だちがどの部分を選んだのかが一目でわかるようにして提示する。(視覚化) ・友だちとの共通点や相違点を話し合う。(共有化)	【読オ】なぜその部分を選んだのかについて、ひきつけられたわけを自分の経験を入れてまとめている。
	10	・「どうぶつ園のじゅうい」を読んで、学習したことをもとに感想文にまとめる。	・まとめ方の型を提示する。(視覚化)	【読オ】型をもとにして、自分の経験と結び付けて感想文にまとめている。
第 三 次	11	・自分の選んだ仕事の本を読んで、学習したことをもとに「見つけたよ！大すきな仕事」カードにまとめる。	・まとめ方の型を提示する。(視覚化)	【読オ】「見つけたよ！大すきな仕事」カードに、仕事の内容と自分の経験と結び付けて書いている。
	12	・友だちと感想を伝えあい、良かったところを見つけ合う。	・選んだ仕事と同じ友だち・別の仕事を選んだ友だちのどちらとも発表し合う。(共有化)	【関】、自分との共通点・相違点を考えながら積極的に友だちの発表を聞いている。
	13	・「見つけたよ！大すきな仕事」カードを家の人や、図書室で紹介し、感想をもらう。		【読オ】自分の選んだ仕事を積極的に相手に伝えている。

並行読書
様々な仕事について書いてある本を読む

6 本時の指導

(1) 本時の目標

自分の知識や経験と結び付けてひきつけられたわけをまとめ、交流することができる。

(2) 論理的な読みの指導の手立て

獣医の仕事と自分の経験との結び付け方を共通の土台とし、その結び付け方を使って自分が読んでいる本に付箋を貼ってまとめさせていく。

(3) 評価規準

A	B	Bに至らせるための手立て
なぜその部分を選んだのかを自分の経験と結び付けてまとめ、感じ方の違いに気づいている。	なぜその部分を選んだのかを自分の経験を入れてまとめている。 (オ)	・根拠となる文章にふせんをはり自分のことと比べてにていることなどを考えるようにする。

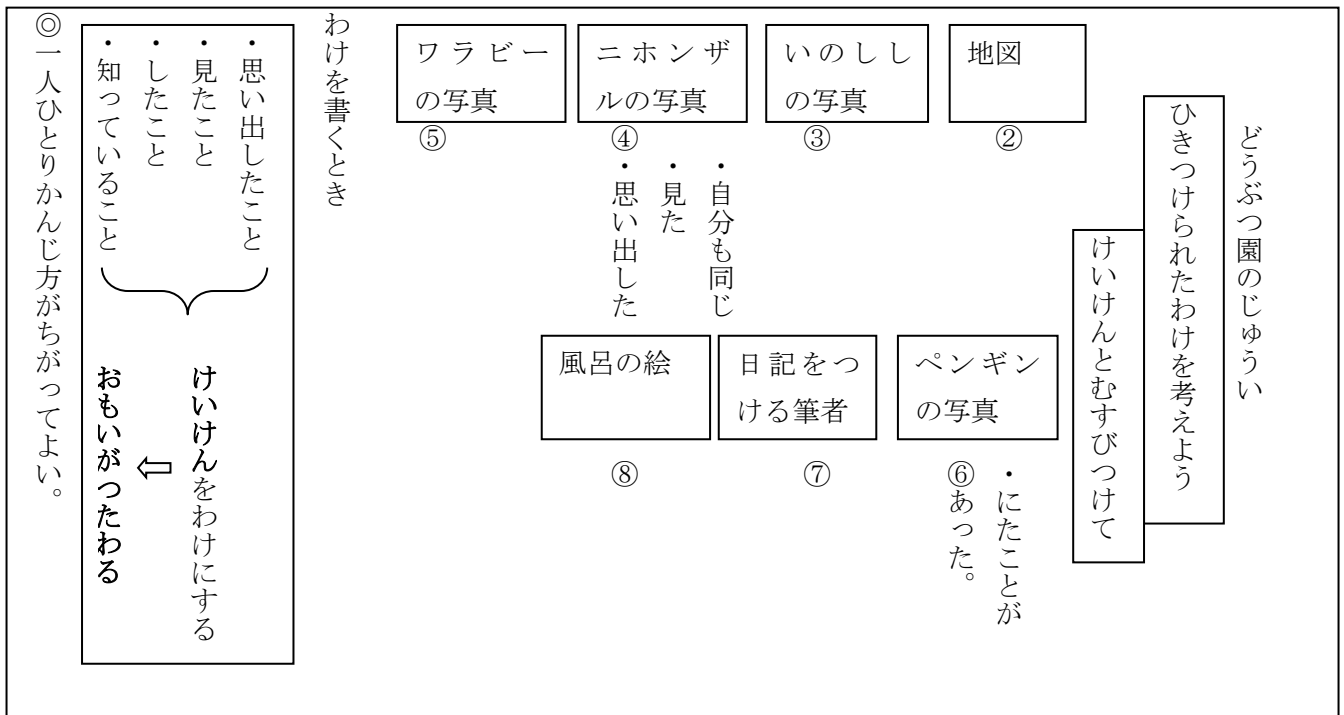
(4) 本時の展開 (焦点化☆ 視覚化□ 共有化◇ 評価◎)

段階	学 習 活 動	指導の工夫 (◎評価)	個別の配慮
つ か む	1 前時の想起 2 課題の確認	☆仕事カードにひきつけられたわけの付箋をはることを確認する。	・掲示物でひきつけられたところを確かめるようにする。
	ひきつけられたわけを考えよう。		
8 分	(1) 自分の経験と結び付けてわけを考えることを確認する。 (2) 学習場面の音読	◇自分が1番ひきつけられた段落を音読する。	・すぐ評価し認める。
ま な ぶ 25 分	3 「どうぶつ園のじゅうい」でひきつけられたわけを交流する。 (1) ひきつけられたわけを発表する。 (2) ひきつけられたわけを交流する。	☆「けいけん」とは、自分が見たこと・聞いたこと・やったこと・知っていること・同じようなことがある・であることを確認する。 ◇自分の経験を発表し、交流する。(同じ段落を選んだグループごとの交流→全体)	・ひきつけられたわけを発表する中で、「けいけん」とはどんなことかを実感できるようにする。 ・上位の子には、「けいけん」の内容がわけに入っていたら賞賛するよう、アドバイスする。
	4 まとめる。	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 思い出したこと やったこと 見たこと 知っていること </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="margin-left: 10px;"> けいけん をわけにする。 思いが伝わる </div> </div> <p>◎一人ひとりかんじ方がちがってよい。</p>	

い か す 7 分	5 自分が選んだ仕事について ひきつけられたことを経験と結 び付けて付箋に書く。 ・何人か発表する。	◎自分の経験（見たこと・聞いた こと・やったこと・知っているこ と・同じようなことがある）を書 いているか。 ◇経験を書いているか確かめなが ら聞くことを確認する。	・まとめのボードを見なが ら書くようアドバイスする。
ま と め る 5 分	6 ふりかえり 8 次時は付箋をもとに感想文 を書くことを確かめる。	☆ノートに、①わかったこと②友 だちのこと③考えたこと・感想を 書く。 ◎わかったことを書くことができ たか。 ・次時の見通しをもたせる。	・板書や友だちに言っ てもらったことを音声言 語に表し、それをノート に書くとよいことを励 ましながら伝える。

<資料>

○板書計画



○並行読書 ブックリスト

しごとば (ブロンズ新社)

続・しごとば (ブロンズ新社)

続々・しごとば (ブロンズ新社)

しごとば東京スカイツリー (ブロンズ新社)

もっと・しごとば (ブロンズ新社)